

J-PAO設立、設立の紹介記事は15誌18件 HPアクセス1,000件突破

3月15日の記者発表には約40社にお集まりいただきました。以降、15誌、18件に取り上げられました。産業界の知恵とノウハウを提供し、プロ農業者の経営発展をお手伝いしたいというJ-PAOの理念をお伝えできる機会となりました。また、記者発表後も事務局にて北海道新聞、上毛新聞、全国農業新聞、協同組合通信の追加取材を受けています。



写真 記者発表の1コマ

事務局が常駐2名体制になりました 農林公庫から1名受入れ

4月2日から事務局の常駐者が2名になりました。事務局次長の菊池新吾(きくち・しんご)と申します。農林漁業金融公庫北海道支店から参りました。主に総務、経理、人材育成事業を担当します。

補助金審査会に出席しました

結果は1～2週間で内示

4月5日(木)午後、霞ヶ関の農林水産省北別館にて、かねて申請していましたが農林水産省の補助事業「経営者組織連携研さん・高度経営支援事業」の公募事業選定審査委員会が開催され、福田事務局長と上原が出席し、事務局長から小田切委員長(明治大学農学部教授)以下総勢6名に対し、J-PAOの設立趣旨等を説明しました。持ち時間10分強という限られた時間でしたが、委員からは「設立間もないが、事業継続に足る財政基盤はあるか」「『プロ農業者』とは何か」といった質問が出されました。補助事業の採択可否については、ここ1～2週間で内示がある見通しです。